

J R 東海丹羽社長から鈴木知事への説明について（7月1日）

（環境局、交通政策課）

1 リニア説明会について

<面 談>

- ・ 今回の説明会で合計 22 回、1,137 人の方に御参加いただき、過去 2 回の説明会より多くの方に御来場頂いた。
- ・ 全ての説明会の会場で県職員にも同席頂き大変ありがたかった。
- ・ 来場者の声として、「理解が深まった」「行政と連携して取り組んでいることで安心できた」という声があった一方で、「モニタリングをしっかりとやって、その結果を公開してほしい」という要望もあった。
- ・ そのほかに、「国交省も立ち会う形での「水利用への影響が生じた場合の対応に係る確認事項」の文書が確認できて安心した」「漠然と不安だったけれども、色々な課題に対して、具体的に対策が講じられるということがわかった」「専門用語について 1 対 1 で平易に説明してもらえて理解できた」などの声をいただいた。

<丹羽社長囲み取材>

（説明会の評価について）

- ・ 今回の説明会で合計 1,137 人の方に御参加いただき、過去 2 回の説明会より多くの方に御来場頂いたことは大変ありがたい。
- ・ 県専門部会での対話を踏まえて、生物多様性に関するパンフレットや動画を新たに作成し、水資源に関するパンフレットをブラッシュアップするなどツールの充実を図った。
- ・ 全ての説明会の会場で県職員にも同席頂き、J R 東海職員と一緒に、環境保全措置などについて説明いただいた。
- ・ これらの取組みを通じて、ご来場頂いた方には、当社の取組みについて理解を深めて頂けたと考えている。
- ・ 今後も、様々な機会を通じて、理解を深めて頂けるように、真摯に取り組んでまいりたい。

（静岡工区の協議等が進んだことについての受け止めについて）

- ・ 県を始めとした地域の自治体含め、これまで水資源や生物多様性について、真摯に対話に応じて頂いたことに感謝する。
- ・ 今後は、県専門部会でご説明させて頂いた自然環境保全措置についてしっかり行い、モニタリングを行い、その結果を地域に公開していく。
- ・ 今後も地域の皆様の御理解、御協力を得るために様々な努力をしていきたい。

2 流域地域振興（確認書）への知事立会いの依頼

- ・ 丹羽社長から流域 10 市町の依頼を踏まえ、「J R 東海と流域 10 市町で
取り交わす予定の確認書」への知事の立会人としての押印を依頼された。

（参考：上記「丹羽社長から知事への依頼」に関する同日の動き）

- ・ 同日夕方、流城市町の事務担当として藤枝市の職員の方も来庁し、全首長及び J R 東海丹羽社長が押印した確認書※が、県に提出され、知事の立会人としての押印を依頼された。

※確認書の具体的な内容については、J R 東海の自然環境保全措置とモニタリングの着実な履行や、継続的な情報共有と対話、流域の経済発展や地域振興に資する取り組みを連携して推進することを両者で確認する内容となる。

3 広域地域振興（基本合意書）の締結の依頼

- ・ これまでも中央新幹線の開業を見据えた東海道新幹線の活用等による静岡県内の産業・観光の活性化等をしていくために連携していきたい旨、知事は就任当初から丹羽社長と話をしてきましたが、これについて、丹羽社長から、他県と同じような地域振興に関する文書締結の申し入れがあった。
- ・ 知事としても県と J R 東海が連携して取り組むことは有意義なことであると考え、双方で文書締結について合意した。
- ・ 基本合意書の内容としては、中央新幹線沿線の他県と J R 東海が締結した基本合意書を参考に、今後、静岡県及び JR 東海が、中央新幹線の開業を見据え、地域振興について連携・協力して取り組んでいくという基本姿勢を盛り込んでいくべく調整していく予定である。
- ・ なお、基本合意書の締結時期については、双方の事務方で調整し、まとめていく。